



修了式を迎えます。新学年に向けて！

今年度もいよいよラストスパートです。今月、6年生は卒業式（3月15日）、1～5年生は修了式（3月24日）を迎えます。そして、学年末・学年始め休業をはさんで新学年が始まります。そのための準備も始まっています。特に6年生は中学校への準備となり、期待と不安が大きくなってくると思いますが、子供たちにはこの時期を大切に過ごして新しい学年を迎えてほしいと思います。次の学年、学校に向けてしっかりした準備が不安をなくしていきます。年度末のご多用な時期ではありますが、引き続き、ご協力とご支援をお願いします。また、子供たちはこの1年、それぞれの成長がありました。ご家庭におかれましても子供たちの成長をほめてあげてください。そこから、次年度の課題が見つかると思います。

2月7日 なわとび集会

体力向上を目的に縄跳びを行っていましたが、その技能の成果を「集会」という形で発表する機会を設けています。クラス単位で、3分間に長縄で「8の字跳び」が何回跳べるか記録に挑む時間や、個人での得意技を披露する時間を設定しました。子供たちは個人の技に感嘆の声をあげたり、長縄に一丸となって挑戦したりしました。縄跳びは縄1本で手軽に行うことができるスポーツです。差支えがなければ、ご家庭でもお子さんと一緒に跳んでみてはいかがでしょうか。

2月18日 旭市保安林植樹会

2月18日には、旭市が進める保安林植樹会が行われ、富浦小から4年生が参加しました。これは毎年行われている会で、保安林は強風や砂などを防ぐほか、津波の威力を弱める効果も期待できることから、市は震災の直後から再生の取り組みを進めていました。この日はクロマツの苗木250本を植えました。旭市の市長や教育長からもお話をいただき、保安林の役割や意義、みどりづくりの大切さを学びました。



卒業式 3月15日（土）

今年度の卒業式は3月15日（土）に行われます。6年生30名が富浦小を巣立ちます。この6年間多くのことを体験し、学んできたことと思います。今、振り返ると、6年生が入学して1年が過ぎようとしていたところに、コロナウイルスが広がってきました。その後学校閉鎖、学級閉鎖、制約された生活、学習、校外活動の制限など。これらを乗り越えて卒業に至りました。前向きに考えれば、未知の課題に遭遇し、どう対応するか考え、そして乗り切ってきた子供たちは今までにないたくましさを持ったのではないのでしょうか。これからの時代、すぐに答えが出ない問題や課題が次々と積み重なってくるでしょう。この世代はそれを見事に克服してきた世代です。このまま、新しい時代の一員として活躍してほしいと思います。

この「学校だより」が読まれているころには「6年生を送る会」が過ぎ、卒業式を控え、その準備と中学校への準備が始まっています。これまで多くのことを体験し、学習し、4月から中学生として、自信をもって夢を追いかけてほしいと思います。

学校生活アンケート（児童）から II

前回の学校だよりでは、「宿題や自主学習を進んでいる」「自分のきらいなことや、苦手なことも逃げないでがんばっている」と回答する児童の割合が増加したことをお知らせしました。しかし、課題も見えてきました。質問の各項目で、「よくあてはまる」とする回答が増える一方で、「あまりあてはまらない」とする割合も増加しています。回答の割合を平均化してしまうと目立たなくなってしまうと思います。アンケートは全体の傾向の参考とし、一人一人に目を向け、指導・支援にあたりたいと考えます。今後ともご家庭のご協力、ご支援をよろしくお願いします。

（学校評価の結果はホームページで公開しています）

1年間ありがとうございました

この「学校だより」ですが、1年間お付き合いいただきありがとうございます。できるだけ学校の様子をお知らせしようと毎月発行してまいりましたが、お伝えする内容の幅が狭かったように反省しています。来年度は学校行事の様子に加え、生活の様子、学習の様子、さらに、学校教育、家庭教育の内容についても触れることができればと考えています。また、保護者の皆様だけではなく、地域の皆様にもご協力をいただいたり、ご支援をいただいたりすることが多いので、その様子なども詳しく発信できればと思います。

来年度もどうぞよろしくお願いします。

富浦っ子4つの合言葉

- ① 笑顔ニコニコ
明るく元気なあいさつ
- ② 瞳キラキラ
進んで活動、楽しく学習
- ③ 感動ワクワク
ふれあう体験、心の成長
- ④ 行動キビキビ
力を合わせて自主・自立

富浦小学校 校長 青柳清和